

プラントデータ管理システム

粉体機器のプラントエンジニアリングに長年携わった
西村機械製作所だからご提案できるオンリーワンのシステム



分析 ・ 予測

【予測と予防保全による生産効率化】

膨大な量の情報を蓄積する事により機械の状況の予測が可能。故障でラインが停止する前に対策がとれるようになります。



例えば

- ・機械監視用の人員を削減。
- ・急なトラブルでのライン停止の予防。

生産 状況

【稼働状況をリアルタイムで監視】

生産設備の情報を管理者側でリアルタイムで監視する事で、稼働状況やトラブルの状況の把握が可能になります。



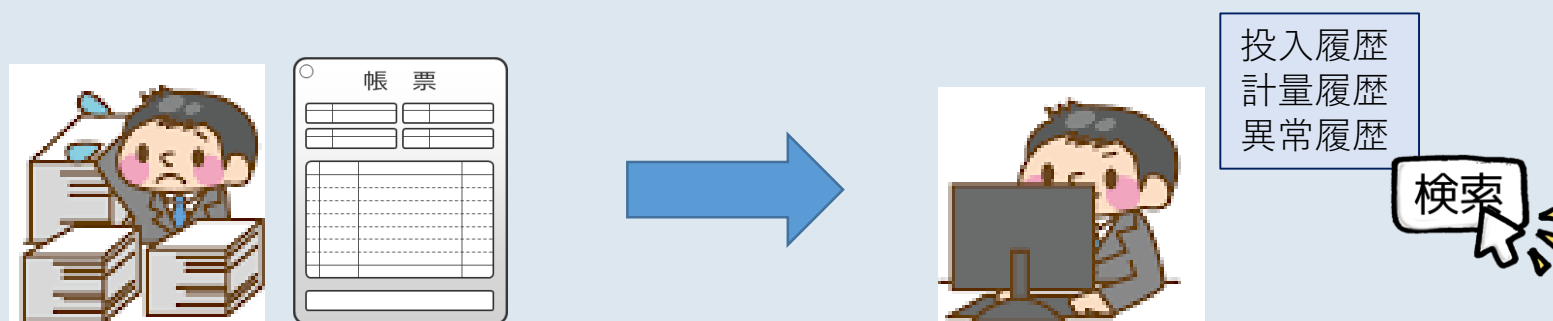
例えば

- ・生産データの随時確認。
- ・外出先でも現場の異常を通知。

情報 蓄積

【情報の蓄積とトレーサビリティ】

「長期にわたり」「膨大な量を」「即時に」デジタル化。データがサーバー上での一括管理になる事で、検索を容易にします。また、帳票の電子化でペーパーレスにもなります。



例えば

- ・生産指示書と結果の照合や生産ロスの把握。
- ・異物混入発覚時の素早い生産情報の追跡。